



展示会に参加して自社の強みを知った

葵製作所は、八王子市の総合板金加工企業。代表取締役・長谷川薫氏の実父である往住紀一氏が、1971年に創業した。半導体製造装置や大規模コンベアなどを支えるフレームなど、大型筐体の製造・加工を得意にしている。また、一点モノの小型製品・試作品を手がけるケースも多い。モットーは「迅速でいいいな対応」。どのスタッフが、どのような過程を経て受注・設計・製作を行ったのか。あるいは、どの協力会社が後処理を担当したかなどの情報を、プロジェクトごとにコンピュータ管理。また、全ての顧客に営業担当者を1人付けるなどの取り組みによって、細かな要望にもできる限り応えている。

同社に転機が訪れたのは、2010年ころのことだ。長谷川氏が常務に就任したのをきっかけに、外部との交流を積極的に行うようになった。

「それまで当社は、何事も自分たちだけでこなそうという方針でした。先代社長（現会長）である父も、『目立

ためような経営が、会社を守ることにつながる』と考えていたのです。しかし私には、外に目を向けなければ生き残れないという危機感がありました。今は変化の激しい時代。内側に閉じこもってばかりいたら、時代から取り残される危険は大きくなるでしょう。

そんな中、東京都中小企業振興公社と接点ができ、公社主催のイベント『コラボレーション交流会（現在の新技術創出交流会）』に参加する機会を得ました、そこで公社の方から、製品展示会に自社製品を出品するよう勧められたのです」（長谷川氏）

社内からは、展示会に出る意味を疑問視する声もあった。長谷川氏自身も、自社に展示するような製品があるのかずいぶん迷ったという。しかし、いざ出展してみると、大きな気づきが得られた。

「展示会に出るまで、『当社のような板金屋は他にも多いのだろう』と考えていました。ところが、それは単なる思い込みだったのです。板金会社は、鉄工所のような大型製品が中心の企業と、小さめの製品を作る（=精密

板金)企業と二分されます。当社のように、大型筐体の製造・加工と、精密板金の両方を手がける企業はかなり珍しいことが分かりました。それからは、これが当社の長所だと胸を張れるようになりましたね」(長谷川氏)

遠慮ではなく「謙虚な価格」で勝負

長谷川氏は、2014年に代表取締役役に就任した。経営の中で大事にしていることは2つある。それは、「誠実さ」と「謙虚さ」だ。

「営業する際には、あえて調子のいいことを言わないことにしています。仕事を取ろうと思って無理な納期を提示すると、納期遅れなどのトラブルを誘発し、結局お客さまのためになりません。当社にできることを、誠実にご説明することが最良の営業方法なのです。

価格面では、あまりにも安い価格で仕事を取ることを禁じています。なぜなら、協力会社の方々や従業員たちの立派な仕事を否定してしまうからです。かかった時間や手間などを、データベースに基づいて正当に評価。その上で、遠慮ではなく謙虚な価格、すなわち『謙価』で

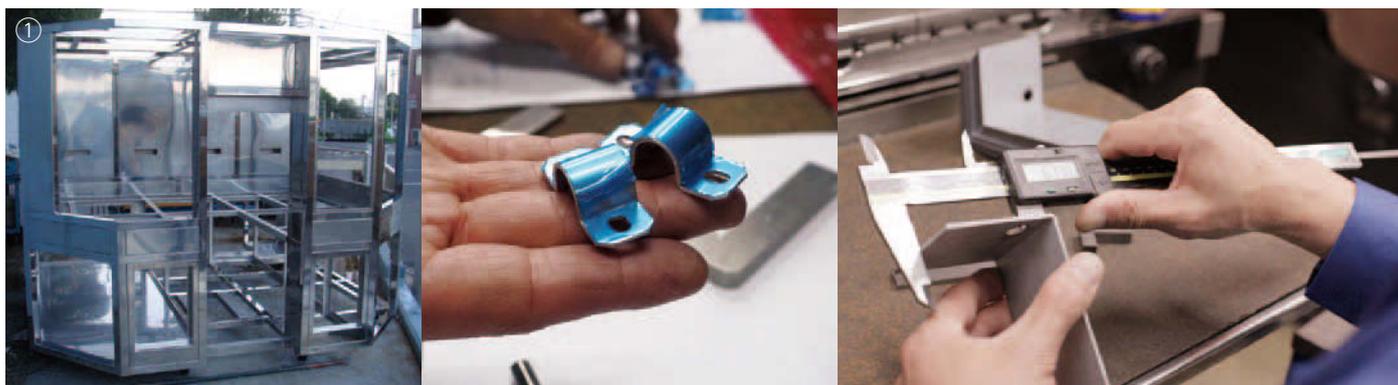
製品を提供するのが、当社の基本方針です」(長谷川氏)

長谷川氏は現在、東京中小企業家同友会にも参加。ここで開講されている「経営指針成文化セミナー」を受講し、企業理念の策定に取り組んでいるという。目的は、従業員が幸せになれる環境の整備だ。

「父は、従業員を引っ張るカリスマ的な存在でした。私は当初、父のようにならなければと思い詰めていましたが、それは無理でした。父のようにするのは難しいと痛感し、悩んだ時期もありましたね。でもそのうち、徐々に『目指すべき社長像』が明確になってきたのです。

私たち夫婦には子どもがいません。従業員は家族のようなものです。ですから、自分が受け取るお金はそこでいいと思っています。それより、メンバーが不安なく仕事に打ち込め、同時に、幸せを感じながら暮らせる環境を整えることが私の果たすべき役割なのだろうと、今は確信しています」(長谷川氏)

企業理念や社内インフラなどを整備し、働きやすい環境作りを目指す。そうした取り組みを通じて従業員を下から支えるのが、長谷川氏の経営スタイルというわけだ。



- ①大型筐体から小さな製品まで幅広い製品を手がける
- ②CADを使って製品の設計図を作成する
(2ページの写真)長谷川氏が自ら、見積もり作成や営業などをすることもある。機会を見つけては従業員との面談を実施、社内コミュニケーションを重視している



職員から～取材を終えて～

自社の事業をHP等でしっかり配信している印象のある同社だが、最初は自社の強みやPR方法が全くわからなかった。新技術創出交流会への参加や公社人材ナビゲータのアドバイスを受けて少しずつ意識が変わっていったとのこと。精密な大型板金、金属素材以外も協力工場とワンストップでの受入体制、各取引先に営業担当を付けるきめ細やかな対応などの強みを生かして、今後も頼られる会社であり続けることでしょう。

(多摩支社 風間友花)

株式会社葵製作所

(会社概要)

代表者：代表取締役社長 長谷川 薫

資本金：1000万円

従業員：21名(2017年7月現在)

所在地：八王子市石川町3216-7

TEL：042-645-7330 FAX：042-645-6130

URL：<http://www.aoi-ss.co.jp/>